

高橋正雄 たかはし せいゆう 經濟學者、經濟學博士。明治三十四年十一月（二十一日）宮城縣生れ（一九〇二）。大正十四年東京帝國大學經濟學部卒。九州大學教授。

著譯書 『社會主義のはなし』（昭和二十一年十月一日黄土社）、『資本主義とどうするのかわれらぬ叫び』（合著・田代喜一郎編、昭和十七年五月一日外國文化社）、『ヘンリエッテ・ローセンブルグ著 破れぬ灰色の登』（訳、昭和二十三年十一月十日大日本雄弁会講談社）、『社會主義日本の設計』（合著・社會主義政策研究會編、昭和二十五年一月）二十五年一月二十五日誠堂「現代人叢書」、『社會改革への提言』（日本ナエビヤン研究所10周年記念）（共編、昭和二十五年十一月十日勤草書房）、『資本主義は変わったか』（昭和二十七年二月二十日有紀書房）、『山麓集（大内先生喜寿記念）』（合著・大内会編、昭和四十年十月二十九日刊）、『わがしの造反』（昭和四十五年十月五日読売新聞社）、『思い出の本』（合著、昭和五十九年十月十五日出版ニエース社）等。

資本主義は変わったか 高橋正雄著

有 實定

資本主義は
変わったか

九州大学経済学博士
高橋正雄著

物價高
クビネリ
暮しの不安
階級の不調
いまの世の
生き苦しさは
世の中の
仕組みが
大きく
動いていく
安定期の
苦しさを
真実
資本主義は
変わったか？